

『ウエスト・サイド物語』 原題 <i>West Side Story</i> 1961年		執筆: 清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ: 監督ロバート・ワイズ、ジェローム・ロビンス/ 脚本アーネスト・レーマン/ 製作ロバート・ワイズ/ 音楽レナード・バーンスタイン (作曲)、スティーヴン・ソンドハイム (作詞)、アーウィン・コスタル およびシド・ラミン (オーケストレーション)、ジョニー・グリーン (指揮)/</p> <p>キャスト: ナタリー・ウッド、歌はマーニ・ニクソン: マリア / リチャード・ベイマー、歌はジム・ブライアント: トニー / ジョージ・チャキリス: ベルナルド / リタ・モレノ、歌は一部ベティ・ワンド: アニタ / ラス・タンブリン: リフ / ホセ・デ・ヴェガ: チノ / タッカー・スミス: アイス/</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	152分	
ストーリー	<p>ニューヨークのダウンタウンのスラム街では、プエルトリコ系のベルナルドが率いるシャーク団とリフのジェット団が縄張り争いを繰り返している。ベルナルドの妹マリアと敵対するジェット団のトニーは、ダンス・パーティで出会い、恋に落ちる。トニーは両グループの争いに巻き込まれて、マリアの兄ベルナルドを殺す。許されない恋を貫こうとするマリアとトニーだが、トニーはシャーク団に復讐されて射殺される。嘆くマリアをかばうように反目する二つのグループは囲みながら、警官が見守る中、トニーの遺体を丁寧に運ぶ。ウィリアム・シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』を現代的に翻案したミュージカルである。</p>	
時代設定	20世紀中庸	
場所	ニューヨークのダウンタウンのウエスト・サイド	
社会背景	<p>移民の国アメリカではダウンタウンに移民や貧しい人々がスラムの集落をつくって住む、青少年の非行、貧困と無知が誘発する犯罪、人種による貧富の格差、移民によるヒスパニックの増加。</p>	
文化的背景	<p>民族ごとに独自の文化圏を形成して住むニューヨークのスラム街、貧困が犯罪を生むスラム街、不良少年たちは暴力と犯罪に親しむ。</p>	

使用言語	英語、スペイン語
テーマ	愛と憎しみ、愛と死、異質のものに対する敵意と差別、疎外された青少年の非行。
みどころ	シェイクスピアの戯曲『ロミオとジュリエット』を現代版ミュージカルに仕立て直した。歌と踊りの見事さ、民族間の闘争による現代版悲劇。
印象深いせりふ	<p>America Lyrics</p> <p>ANITA: Puerto Rico My heart's devotion Let it sink back in the ocean Always the hurricanes blowing Always the population growing And the money owing And the sunlight streaming And the natives steaming I like the island Manhattan Smoke on your pipe And put that in</p> <p>GIRLS: I like to be in America Okay by me in America Everything free in America</p> <p>BERNARDO: For a small fee in America</p> <p>ANITA: Buying on credit is so nice</p> <p>BERNARDO: One look at us and they charge twice</p> <p>ROSALIA :I'll have my own washing machine</p> <p>INDIO : What will you have though to keep clean?</p> <p>ANITA: Skyscrapers bloom in America</p> <p>ROSALIA: Cadillacs zoom in America</p> <p>TERESITA: Industry boom in America</p> <p>BOYS: Twelve in a room in America</p> <p>ANITA: Lots of new housing with more space</p> <p>ERNARDO: Lots of doors slamming in our face</p> <p>ANITA: I'll get a terrace apartment</p> <p>BERNARDO: Better get rid of your accent</p> <p>ANITA: Life can be bright in America</p> <p>BOYS: If you can fight in America</p> <p>GIRLS: Life is all right in America</p> <p>BOYS: If you're all white in America</p> <p>GIRLS: Here you are free and you have pride</p> <p>BOYS: Long as you stay on your own side</p> <p>GIRLS: Free to be anything you choose</p> <p>BOYS: Free to wait tables and shine shoes</p> <p>BERNARDO: Everywhere grime in America Organized crime in America Terrible time in America</p> <p>ANITA: You forget I'm in America</p> <p>BERNARDO: I think I'll go back to San Juan</p> <p>ANITA: I know what boat you can get on</p> <p>BERNARDO: Everyone there will give big cheers</p> <p>ANITA: Everyone there will have moved here</p>
授業教材用 メリット	見事なミュージカルが楽しめる、英語学習に適した有名な英語の名曲の数々が聴ける、若さと新鮮さがあふれる名場面。

授業教材用 デメリット	上映時間がやや長い、50年以上前の不良少年たちの服装や動作は現代ではふつうの青年のそれらにみえる。
映像入手元	20世紀フォックス・ホーム・エンターテイメント・ジャパン
原作の有無	ジェローム・ロビンス、アーサー・ローレンツ『ウエスト・サイド物語』
支持反応	Rotten Tomatoes 評価（批評家 94、観客 84）
キーワード	ニューヨーク、ダウンタウン、ウエスト・サイド、プエルトリコ、移民、スラム、ミュージカル、ダンス・パーティ、不良、ロミオとジュリエット、悲劇、争い、民族闘争、反目、殺人、恋、愛、死、貧富の差、スペイン語、貧困、無知、暴力。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。